010641_腹腔鏡下低位前方切除術(50kg以上)

ステップ名称		ステップ1			ステップ2	ステップ3		ステップ4					ステップ5	
		2日前	1日前	基準日			1日後	2日後	3日後～4日後	5日後	6日後	7日後	8日後～9日後	10日後
				術前	術中	術後								
到達目標		手術に対する心身の準備ができる				合併症なく経過し、歩行できるようになる		食事が3割以上食べられ排便がある					自分の排便パターンを把握して退院できる	
処置	文章		腸のごまを取ります	手術前に弾性ストッキングを着用します	手術室でおしっこの管などが入ります	酸素マスク、心電図モニターなどをつけます		おしっこの管を抜きます			排便がなければ翌朝から緩下剤を服薬します	おなかの管を抜きます		10時ごろに退院です
		弾性ストッキングのサイズを測ります					指示で酸素マスクや心電図モニターをはずします	傷の状態を観察後ドレッシング材を除去します						
							足の運動ができるようになればマッサージ機をはずします	背中のチューブを抜きます						
						足にマッサージ機をつけます								
検査					手術中にレントゲンを撮ります		血液検査があります					血液検査があります		
体温・呼吸・循環	文章	入院時に身長、体重をはかります		手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	6時　10時　14時 19時ごろに体温、脈拍などをはかります	6時　10時　14時 19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	
		入院時に体温、脈拍などをはかります										体重測定をします		
注射		持続点滴が始まります	持続点滴があります			持続点滴をしています	持続点滴をしています 21時ごろ皮下注射があります	持続点滴をしています 昼、夜、皮下注射があります	持続点滴をしています 朝、夜、皮下注射があります	持続点滴をしています 朝、夜、皮下注射があります	持続点滴をしています 朝、夜、皮下注射があります	終了後点滴を抜きます 朝、皮下注射があります		
投薬		持参薬があればお知らせください	22時に下剤を服用します	6時に指示の持参薬を服用します										退院時、医師の指示に従ってください
		14時から下剤を2時間かけて服用します 22時に下剤を服用します												
清潔・排泄		入院までの排便状態をお聞きします	入浴します	排便の確認をします			身体を拭きます		4日後排便の有無を聞きます	排便の有無を聞きます	排便の有無を聞きます	許可がでればシャワー浴ができます		退院後、排ガス・排便の停止など腸閉塞に注意します
									4日後体を拭きます					
食事		絶食です お茶・水は飲めます	絶食です お茶・水は飲めます	絶食です 朝7時以降水分は取れません		絶飲絶食です	飲水ができます	飲水ができます	飲水ができます	朝から流動食です	朝から三分粥食です	朝から五分粥食です	朝から全粥食です	退院後、制限はありません
活動・安静度		制限はありません	制限はありません	制限はありません		ベッド上で安静にします	座ったり、立つことができます	トイレまでの歩行ができます	3日後病棟内は歩行できます					退院後、制限はありません
教育・指導・説明・リハビリ		栄養士から食事について説明があります	看護師が手術に必要な物品の確認をします		ご家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果について説明があります	主治医から術後診察および説明があります						8日後栄養士から食事について説明があります	看護師から日常生活や次回受診日について説明があります
		薬剤師から薬について説明があります					早期離床の必要性について説明があります							主治医から退院前または退院後外来で、病理結果について説明があります
		看護師から手術について説明があります												
書類		輸血同意書、手術同意書、麻酔同意書を看護師詰所に提出してください												
														退院療養計画書、請求書を渡します
手術														